

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援施設はじめの一步 須恵事業所		
○保護者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数) 36名
○従業者評価実施期間	令和8年1月13日		～ 令和8年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数) 7名(うち5名は児発・放デイ兼務)
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	十分な職員配置が出来ており、手厚いサポートが可能な環境を整えている。	利用児の人数や特性を考慮し、携わる職員数や配置する場所などを検討している。	職員配置だけではなく、視覚支援などの環境面でも更にサポートの厚みを増していけると良い。
2	5領域における観点から、運動や机上での活動、SSTなど様々な活動を取り入れている。	運動と机上活動は毎日取り入れ、メリハリをつける事や切り替えの経験を提供している。	夏祭りへの招待など、地域に開かれた事業運営が出来ると良い。
3	児童発達支援・放課後等デイサービスのそれぞれで、専門職による個別療育を実施している。	限られた部屋数の中で、時間をずらす、屋外活動を取り入れるといった工夫をしている。	法人内事業所に在籍する専門職との研修を実施する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所外の方と関わる場が少ない。	低年齢の利用児も多く、集団での事業所外活動に危険性を感じるため。	就労支援の物品販売などに地域の方を招待するなど、危険が比較的伴わない形でのイベントを検討する。
2	食事場面に対するアプローチが出来ていない。	多機能型事業所のため、職員配置等を考えると言うでは難しい。	活動の中でのクッキングを継続。
3			